

ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

発行：ひたちなか市都市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室

雨水貯留タンクを贈呈 ー雨水流出抑制「スクールダム」 市内3校へ設置ー【茨城県】

茨城県より雨水貯留タンクが市内3校に贈呈され、代表として田彦小学校で贈呈式が行われました。タンクは、企業版ふるさと納税を活用して寄付されたもので、『スクールダム』と命名されました。

式典では、茨城県担当者による流域治水の授業が行われ、「タンク一つは小さいが、みんなで協力することで、洪水からまちを守ることができる」、「大雨の時に風呂の水を捨てないだけで効果がある」と話があり、児童たちは流域治水について興味深く学びました。



▲スクールダムと記念撮影
田彦小学校の生徒と茨城県・市職員



▲貯留した雨水をくむ生徒
花だんの水やりなどに利用できる

雨水貯留タンク「スクールダム」

設置箇所 田彦小学校・佐野小学校・美乃浜学園
貯留容量 500L

「流域治水」について知っていますか？

流域治水の取り組み

1 川の水をながす

川を掘ったり堤防を高くしたりして、水が多く流れるようにするよ！



2 雨水をためる

いろいろなところで水をためるよ！



川に水をためられる場所をつくる！



田んぼに水をためる！



学校の校庭に水をためる！



ダムやため池にためられる水の量を増やす！



屋根に降った水をタンクにためる！



4 すばやくにげる

マイ・タイムラインを作って、いざというときに備えよう！

ハザードマップを確認し避難の方法を調べておく



防災無線や監視カメラなどの情報に注意し必要であればすぐに避難！



川のそばの地域だけでなく、浸水しやすい地域、川の上流も含め、広い範囲で水害に備えるよ。

3 みんなの生活をまもる

水害に強いまちにするぞ！



浸水しないところで生活しよう！



ビロティ 倉庫利用 かさ上げ

マイ・タイムライン

避難先 ○〇小学校体育館

避難先までの移動時間 川の近くまで15分、深い浸水まで30分

避難先までの移動時間 10分

- 避難先へ行く
- 避難先へ行く
- 避難先へ行く
- 避難先へ行く
- 避難先へ行く
- 避難先へ行く





稲田地内で雨水幹線の工事へ向けて、推進機の搬入作業を実施しました。雨水の流れをよくするため大きな雨水管を設置する工事で、工事後は今までより多くの雨水を流すことができるようになります。推進機による工事は、地中を掘って進み、管きよの接続も地中で行いますので、地上では普段通り通行できるなどメリットがあります。



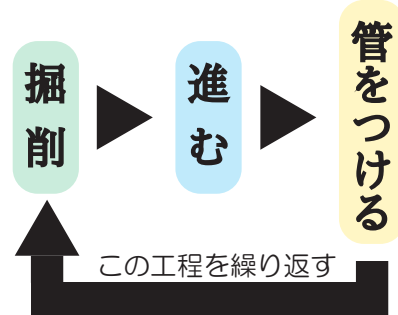
人間とほぼ同じ大きさのシールドマシン。設置する雨水管が大きいため機械も大きくなります。

推進工法とは？

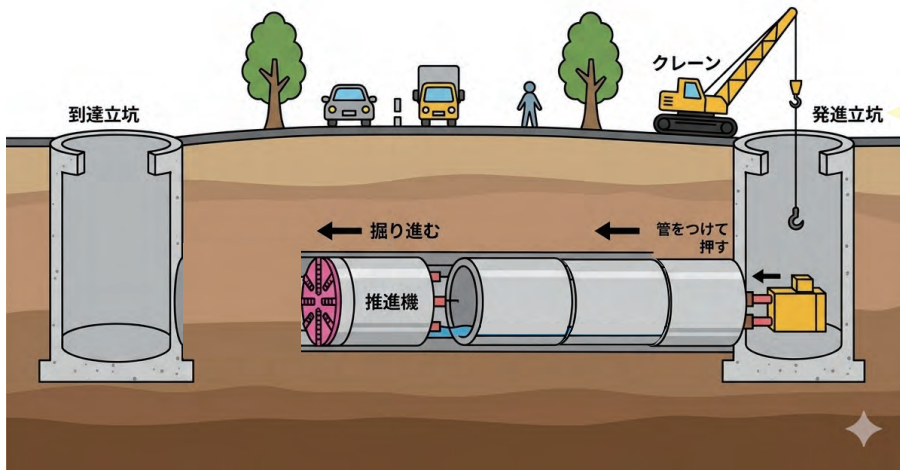
推進機は、かんたんに説明するとトンネルを掘るドリルになります。

前面の銀色の大きな爪が地中を削り、後部に雨水管を接続しながら後ろから押し出されるようにして進みます。

掘り進みつつ雨水管が設置されていく工法です。



推進工法施工イメージ



発進立坑（はっしんたてこう）

地下を掘り進む推進機や雨水管を、クレーンで地下へ吊り下げる「スタート地点」となる縦穴のことです。ここから先は、目的地を目指して地中を掘り進む作業に移ります。



工事箇所周辺は通行できない場所があります。
案内や誘導を実施していますが、
ご注意ください。

工事にご協力をお願いします。

住民の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが
ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

ひたちなか市都市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室
〒312-8501

ひたちなか市東石川2丁目10番1号
TEL 029-273-1478（直通）

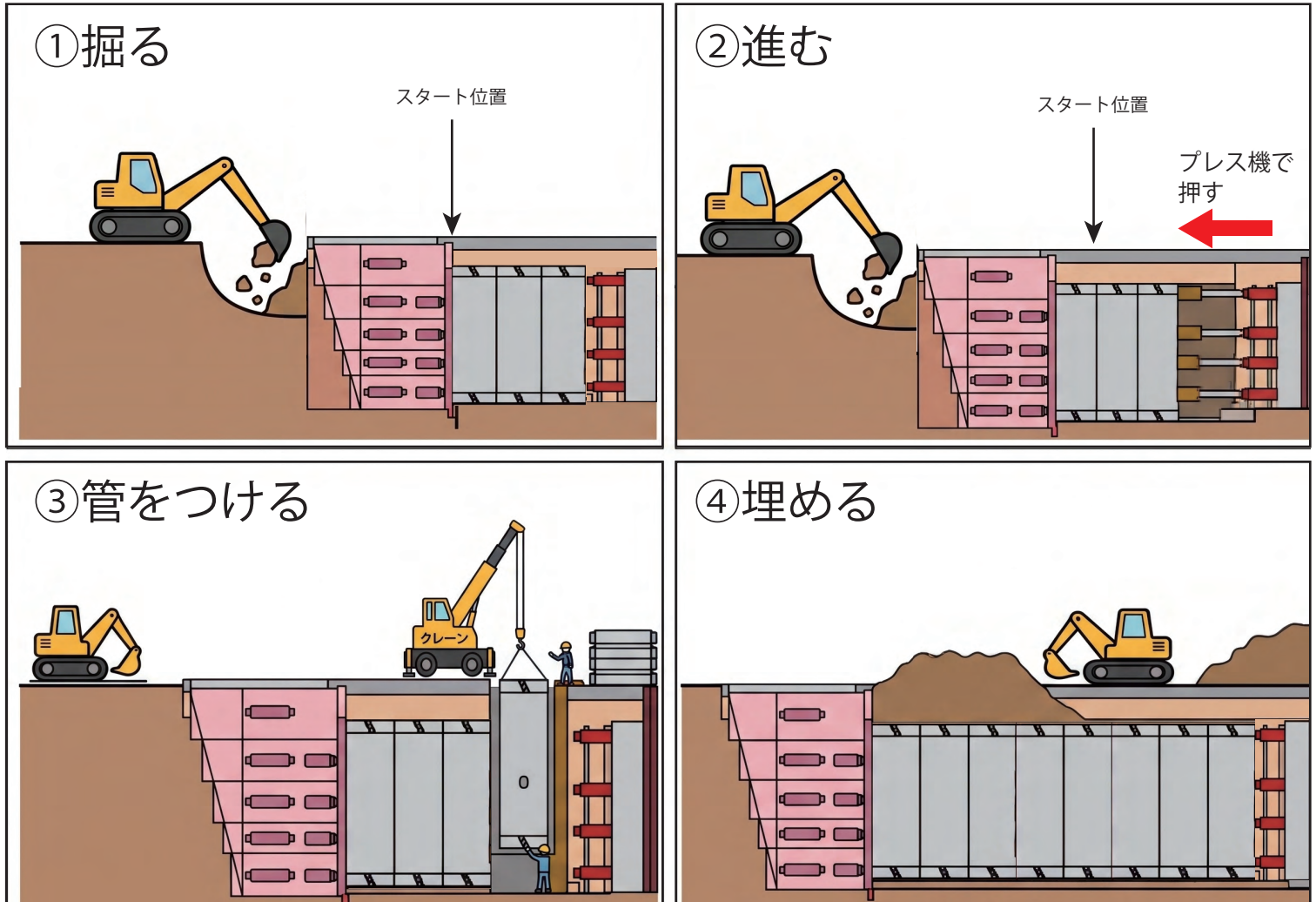
「ひたちなか治水だより」は不定期更新で
ひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも
治水に関する情報を公開しています。
アクセスはこちら→



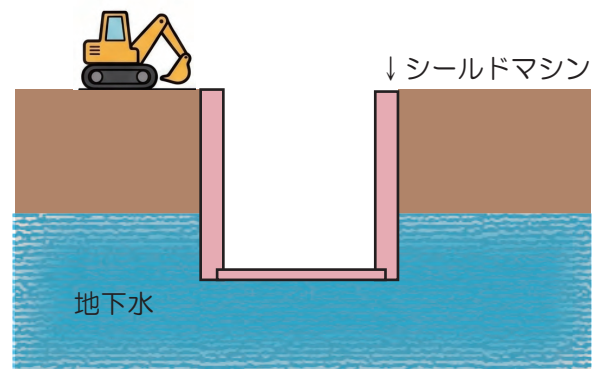
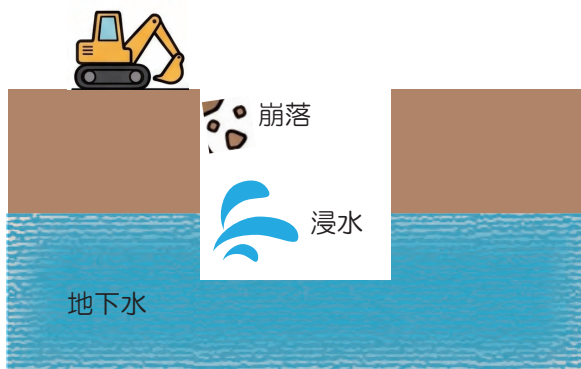
4コマで分かる！オープンシールド工法！

オープンシールド工法ってどんな工事？



オープンシールド工法のメリット

オープンシールド機で土留めをしながら管きょ（箱型の水路）を地中に埋設するため、家屋が両側に近接した狭い場所での水路の改築・新設、軟弱な地盤等でも施工が可能です。



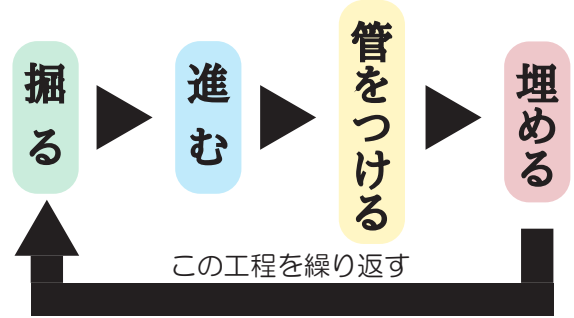


高場地内で雨水幹線の工事がはじまりました。この工事は、雨水の流れをよくするため大きな水路を設置する工事です。より大きな水路を設置することで大雨が降っても多くの雨水を流すことができます。道路冠水などの被害を減らすため工事を推進していきます。



作業箇所が上から見えるため「オープン」シールドと呼ばれます。

オープンシールド機（左写真）で土留めをしながら管きょ（箱型の水路）を地中に埋設する工法です。家屋が両側に近接した狭い場所での水路の改築・新設、軟弱な地盤等でも施工が可能です。



オープンシールド機ってなあに？

オープンシールド機はほとんどが土中に埋設されて見えませんが、実際の大きさは右写真のとおり巨大な機械です。埋設する管きょ（箱型の水路）の大きさが大人が立って歩くことができる大きさであるため、このような大型の機械で工事を進めていきます。



工事箇所周辺の迂回にご協力をお願いします。

左地図のとおり工事箇所周辺は通行止めとなる区間があります。

案内や誘導を実施していますが、付近をご通行の際はご注意ください。



住民の皆様にはご迷惑をおかけいたしますがご理解ご協力をよろしくお願いいたします。